

営農情報(令和6年1月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■温州みかん

令和5年産みかんは、収穫前に数回の降雨がありましたが、秋季を通じて天候が安定していたことから、M中心の高品質に仕上がりに、収穫量も前年並みは確保できていると見ております。

◇樹体管理

樹勢回復と耐寒性向上のため、暖かい日を選んで窒素(尿素300倍液)の葉面散布を7～10日おきに、3回程度行う。

◇貯蔵管理

貯蔵庫の点検を定期的に行い、腐敗果は見つけ次第除く。庫内の温湿度に注意し、換気は外気温と貯蔵庫内温度の差が少ない朝夕の時間帯に行い、好適な庫内環境を維持する。

◇土壌改良の準備

堆肥や苦土石灰等の資材を準備しておく。

土壌のpHや養分の過不足を改善するため、2～3年ごとに土壌分析を行う。

(土壌分析の依頼方法は、別刷りの広報折り込みを参照のこと。)

【1月の病害虫防除】

かき

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
休眠期 (発芽前)	カイガラムシ類	ハーベストオイル	50倍	—	—

うめ

休眠期 (発芽前)	越冬害虫	石灰硫黄合剤	10倍	—	—
	縮葉病		8倍	—	—

キウイフルーツ

1月	カイガラムシ類	機械油(乳)95	14倍	—	—
----	---------	----------	-----	---	---

■厳寒期の野菜の管理について

寒さが強まり、気温が下るにつれて、作物の生育は緩やかになるとともに、季節風により倒伏や低温による生育障害、霜害が起こりやすくなるので、被覆資材の活用や適切な対策をとることが大切です。

◇被覆資材を用いる方法

1. プラスチックフィルム

農ビ、農ポリ、酢ビ等がある。

支柱を立てて、トンネル状に覆う。密閉すると日中は真冬でも高い温度になるので、発芽・生育促進や、とう立ち防止(だいこん、にんじん等)に役立つが、注意しないと高温障害が出ることもあるので、トンネル内を25度以上にしないように換気する必要がある。

2. 不織布(ふしょくふ)

合成繊維を織らないで布のようにしたもの。白色で軽く、通気性、透明性があり、「パオパオ」などの商品名で販売されている。

プラスチックフィルムほど保温性は高くないが、通気性があるため昼間高温にならず、換気の手間が省ける。また支柱を使わずべた掛けすることも出来る。

◇作物別の対策

ほうれんそう、こまつな・・・霜や風が当たると葉が傷むので、不織布のべたがけで防寒する。

はくさい、カリフラワー・・・外葉を包むようにひもで縛っておく。

だいこん、にんじん・・・首の部分が隠れるように土寄せを行う。

ねぎ・・・株元に土寄せするか、もみ殻をかける。

エンドウ・・・笹竹や支柱を立てて稲わらをぶら下げる。

【お知らせ】

■1日農業バイトアプリ「daywork」の紹介

- ・みかん収穫のアルバイト募集にバイトアプリはいかがでしょうか？

1日単位のスキマ時間で働きたい人が多く登録するバイトアプリです。アプリのインストール、アカウントなどの作業は必要ですが、働きたい人と直接やりとりをすることができます。

「短期間だけ」「仕事が休みの時だけ」「農業体験に」といった理由でアルバイトをしたい方は結構います。詳しい登録方法については右のQRコードからお進みください。



【お知らせ】

■土壌分析のお知らせ

- ・肥料販売業者が窓口となる肥料価格高騰対策事業の申請にあたって、土壌分析をする必要がある方は、別刷り広報折込を参照のうえ、土壌分析をお申し込みください。分析料は無料ですので、安心してお申し込みください。

【イベント案内】

■勝浦みかん町民公開講座の開催について

- ・令和6年2月2日（金）午後に勝浦みかん町民公開講座を農村環境改善センターで開催します。
- ・当日は、以前いきいきファーマーズの視察でお世話になった、和歌山県下津のみかん農家岩本治氏を講師としてお招きする予定です。
- ・大会の詳しい内容については、1月中旬を目途に新聞折込により周知します。

＜お問い合わせ先＞

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA営農振興課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768